

里親・養子縁組家庭と子どもへの理解とサポート

出前講座のご案内

里親制度をご存じですか？

無料で
承ります

いま、家族の在り方は多様化しています。

なかでも、「里親家庭」「養子縁組家庭」については、

なんとなく聞いたことがあるけれど、よく知らないという方が多いと思います。

保育所や学校、学童保育や学習塾に里親家庭・養子縁組家庭の子どもがいるとき、
公的機関の窓口や医療機関などで、「里親です」と言われたとき、

どんな配慮が必要でしょうか。

里親家庭と子どもが自分らしく地域での生活を送るために知っておきたいこと、
それぞれの立場からできる支援や配慮を一緒に学びませんか。

講座概要

日時

30分～2時間程度
※ご希望に応じます

場所

ご希望の場所にお伺いします(港区内)

講師

里親支援に従事する
専門職員

申込

下記番号までお電話で
お申込みください

- 里親の種類、支援体制など、制度の概要
- 子ども、里親・養親、実親、それぞれの思い
- 里親家庭で生活する子どもへの支援や配慮のポイントなど



港区児童相談所 フォスタリングチームみなと



港区児童相談所 フォスタリングチームみなと

〒107-0062 東京都港区南青山5-7-11

☎ 03-5962-6505

8:30～18:00 (土・日・祝・12/29～1/3を除く)



里親登録にご興味のある方は、毎月説明会を開催していますので、お問い合わせください。

里親・養子縁組家庭の声

役所で、

転入手続きをした際、窓口の人が里親制度を知らなかったみたいで、時間がかかりました。

幼稚園で、

トラブルが続いたときに「里親の愛情が足りないのでは。」と言われてしまい、悲しくなりました。

健診のとき、

里親であることは事前に伝えたのですが、親の病歴や出生時のことを聞かれてわからないので困ってしまいました。

保育所で、

実の親子ではないことを本人に伝えるのに、子どもが不安になると思って、園でのフォローをお願いしたら「伝えるのは、かわいそうじゃない？」と心配されました。里親の研修では、子どもが生き立ちを知る大切さを聞いていたので、どうしたらよいかわからなくなりました。

学校で、

生き立ちを扱う授業の中で、「生まれた時、親がどんな気持ちだったか」インタビューする宿題が出て、子どもと一緒に戸惑ってしまった経験があります。

病院の受付で、

里親家庭の子どもが使っている「受診券」を使えないと言われてしまいました。どの医療機関でも使えることをわかってもらうのに苦労しました。

出前講座・公開講座などに参加した皆さんの声

サポートに携わる可能性のある保育園。そのサポートの大切さはもちろんですが、それは実親さんにもつながることで、日々、子育てがわからず、迷う保護者の姿を見ている今、園でしている子どもへの関わり、保護者への支援の大切さを改めて感じました。

区内の保育所

実際の里親・お子さんのエピソードもうかがうことができ、理解しやすかったです。頂いた資料、お話をもっと時間をかけてお聞きしたかったです。（現在在園児にはませんが）保育園として、里親さん支援をしていきたいと思います。

区内の保育所

養子縁組と里親の違いを明確に理解できました。腫れものに触るような対応でなく、自然に受け入れ、来院された方に違和感なく過ごせるよう意識的に取り組んでいきたいと思います。

区内の小児科クリニック

※いただいた感想より一部抜粋しています。

（生き立ちについて）子どもへの早めの告知が必要で、それがアイデンティティ形成につながるというお話が印象に残りました。幼い時からの積み重ねが自分自身を形作るというのは、里親子どもでも変わらないからでしょう。また、この子どもたちは様々な喪失体験をしている、そのことを忘れないように援助者としても意識させられました。

区内の相談機関

とても丁寧にわかりやすくお話いただきまして、すごく勉強になりました。「里親制度」について、何となくぼんやりと理解していたものが、今日の講座を聴いて明確になりました。里親家庭で生活をする子どもさんはもちろん、里親さんへの理解や配慮について、より深く知るために、また機会があったら講座や研修に積極的に参加していきたいと思いました。

区内の子育て支援施設



R5年度 保育所・小中学校、関係機関職員の方向け公開講座の様子

里親や養親であることを堂々と語る港区に